

地域に根づく付知営林署「森林の市」

付知営林署 今井寛雄

1. はじめに

付知営林署「森林の市」は、全職員の協力によって62年以降9回開催をするに至り、定着したところである。

発足のきっかけは、毎年8月に付知町でふるさと祭り「産業祭」が開かれており、61年に付知町から付知営林署に参加要請があった。営林署としては、地域との連けいをより深めるために初めて協賛というかたちで参加し、木曾ヒノキ枝の輪切り花台、打出し木、水苔等を出品、販売した。

「営林署が誰にでも自由に品物を売ってくれる」という、従来の営林署のイメージとは違った対応に予想外の好評を得ることができた。

こうした声に産業祭に参加した職員の中から、「即売会を営林署独自でも開催し、発展、定着できないか」という声が高まり、全職員の協力のもとに、62年5月から始めたものである。

その後、「森林の市」は更に発展し、63年度からは、付知町町おこし推進協議会、関係業界等の協賛を得るなど地域に根づいてきたのでその概要と成果等について紹介する。

2. 目的

「森林の市」は国有林野事業の厳しい現況の中で一人でも多くの人に森林・林業に関心を持ってもらう等、多くの願いをこめているが、特に、次の2点を大きな目的とした。

- (1) 地域に国有林への理解と関心を深める。
- (2) 従来、現地に埋れていた森林資源の有効活用により新たな収入を図る。

3. 内容

(1) 実行体制

全職員が何らかのかたちで協力、参加することとし、下表の役割り分担にもとづき取り組んだ。

実行体制

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 取 り 組 み | 実行委員を中心に全職員が事業実行の傍ら取り組む。 |
| 出 品 物 | 地元産業と競合しない原材料及び半製品を主体に出品する。 |

実行委員 総括 次長

各課、各現場から選出 15名

役割分担

役割	分担
企画	次長 経理課長
調達	経営課、事業課、現場職員
加工	同上
PR	庶務課
会場準備	経理課
開催	職員の交替制(基職を含む)

(2) 開催の状況

「森林の市」の開催は主として日曜日に下付知貯木場で行った。来場者は家族づれが多いこともあって終始なごやかな中で、職員と出品物の加工方法、木に関する質問等を通して交流を深めてもらった。

また、「森林の市」の様子は新聞に大々的に報道されたこともあって、地域の関心が一層深まり、回数を重ねる毎に問い合わせも多くなり、かつ、地域からの協賛を得ることができる等期待が高まってきている。

現在までの開催の実績は下表のとおりである。

森林の市開催の実績

開催月日	内容	場所	来訪者	協賛団体
62. 5. 31	森林の市	下付知貯木場	400人	
62. 7. 26	森林の市	下付知貯木場	300	
62. 8. 14	付知町産業祭	付知町	1,200	主催/付知町
62. 10. 25	森林の市	下付知貯木場	300	
62. 12. 6	森林の市	下付知貯木場	250	
63. 5. 14/15	支局森林の市	暮らしの木材展示館	3,100	主催/支局
63. 6. 11	森林の市	下付知貯木場	300	町おこし推進協議会・漬物組合
63. 8. 14	付知町産業祭	付知町	1,300	主催/付知町
63. 10. 16	森林の市	下付知貯木場	300	町おこし推進協議会・漬物組合

(3) 出 品 物

主な出品物は原材料及び半製品として次のとおりである。

- 木曽ヒノキ枝を輪切り加工した花台
- 天然サワラで割れ等が生じ、商品価値のないものを加工した家庭菜園用割り杭
- 打出し木を加工したもので、屋外用の物置台や野外テーブル
- 残材等の薪
- 木曽ヒノキの枯れた端材から加工した表札
- サンショウの木で加工した「スリコギ」
- 保育間伐から集めた小丸太
- 乾燥、精選した水苔
- その他に古根株、腐れ枝を活用した花台 等

(4) 出品物の調達

出品物の調達は、全職員が事業実行の傍ら行うこととしたが、多くの時間と日常の心がけ、気く
気くばりが必要であり、「森林の市」を継続するうえで最も大変で重要なことである。

円滑な調達を行うためには、周到な計画と全員の取り組みへの意欲づくりが肝要であった。

(5) P R

P Rは「森林の市」の成否を左右する重要なものであり、また、冒頭に掲げた目的達成のためにも積極的に取り組むことにした。

具体的には下表のとおりである。

P Rへのとりくみ

- 新聞社への情報提供
- 町内各戸へのチラシ配布
- 町内同時放送無線による呼びかけ
- 車輛による町内への呼びかけ
- 立看板の設置

(6) ま と め

「森林の市」では、一般に市販されていない、原材料及び半製品を即売することによって、
購入者が自分の好みに合ったものが作れるなど、楽しみや夢があり、また、誰れでもが直接購
入できるといった手軽さが非常に好評を得た。

来場者や遠方からの電話による次回の「森林の市」開催についての問い合わせ等もあり、地
域において付知営林署「森林の市」は、ほぼ定着してきている。

以上のことから次の3点が成果としてあげることができる。

- ① 地域住民に開かれた営林署、経営改善に努めている営林署のイメージを高めた。
- ② PR活動、対話等ふれあいにより国有林への関心を深めた。
- ③ 地域から好評を得たことにより、職員の業務意欲の向上、協力体制づくりなどの意識を高めた。

これら成果を基に、今後も付知営林署「森林の市」を地域に密着させ、地域から親しまれ、信頼される営林署に努めていきたいと考えている。



